児童に見られるつまずき

　自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考え書きまとめることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　具体例を示す、効果的な資料を取り入れるなどの本論中の筆者の工夫を参考にさせることで、文章全体の構成の効果を考えて文章を書くことができるようにする

指導事例集ｐ．５３

１　学年・単元名　　第５学年　和の文化について調べ２０２０字説明文で紹介しよう

『和の文化を受けつぐー和菓子をさぐるー』（書くこと）

２　単元目標

　　・和の文化について調べて説明する文章を書くという目的を意識して文章を読み、進んで調べてみたい課題や資料を探すことができる。　　　　　　　　　　　　【関心・意欲・態度】

　　・観点や構成に着目して内容を理解して読み取ることができる。　　　　　　　【読むこと】

　　・伝えたい事柄が明確に伝わるように、文章全体の構成の効果を考えるなどの工夫をして書きまとめることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【書くこと】

　　・文章のいろいろな構成について理解することができる。

参考：単元について

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

３　本時の目標

目標　本文で学習したことを参考にして、意図が読み手に伝わりやすい説明文にすることを意識した文章構成表を作る。

参考：板書

４　本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** | 児童への手立て |
| １．前時までの学習を振り返り、本時の学習を確認する。  読み手に意図が伝わる効果的な文章構成を考えよう。  ２． 結論を考え、書きまとめる。  文章構成を考える  ワークシート  version1　使用  ３．序論を考え、書きまとめる。  文章構成を考える  ワークシート  version1　使用  ４．本論を考え、３つの  　　視点に絞って書きまとめる。  文章構成を考える  ワークシート  version1　使用  ５．次時の学習予定を知る。 | ○本時は、自分が設定した｢和の文化｣のテーマを元に意図が読み手に伝わりやすい説明文にすることを意識し、文章構成図を作ることを確認する。  **○自分の考えを整理し、最も伝えたいことは何かを焦点化させる。**  ○｢このように～のです。｣という定型文を必ず使うよう限定することで、文章を書きやすくする。  ○本文「わたしたちの毎日の生活の中には～」に筆者の伝えたいことが書かれていることを想起させ、まとめの参考にさせる。  ○自分が設定したテーマについて、読み手の興味をひくために、身近なものであること、皆が知っているものであることを書くなどの工夫をさせる。  ○序論の最後か、本論のはじめに｢～でしょうか｣と読み手に問いかける定型文を使うようにさせる。  **○事前に考えておいた３つの視点について、意図を伝えるためにどの順にすればより効果的かを考えさせる。**  **○本文の文章構成を振り返りながら、具体例を示す、効果的な資料を取り入れるなどの本論中の筆者の工夫を参考にさせる。**  **○主述を整えたり、指示語を適切に使うなど、語句と語句とのつながりを意識したりしながら、自分が伝えたいことを明確に書きまとめさせる。**  ○どのように自分自身が受けつぐことができるのかについても書かせる。  ○次時は、作成した｢文章構成表」を読み合い、友達のアドバイスを生かして校正する学習を行うことを伝える。 | ※自分が最も大切だと考えるキーワードを明確に持たせる。  ※前時の学習場面（読み手に伝えるための効果的な工夫）を可視化し教室に掲示しておく。 |

５　見とりのポイント

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価項目 | | A  （十分達成） | B  （概ね達成） | C  （要支援） |
| 結論に自分の考えを明確に書くことができている。 | | 「わたしたちの毎日の生活の中には～」｢このように～のです。｣等の書きぶりを正確に使い、自分の伝えたいことを明確に書きまとめることができている。 | ｢このように～のです。｣の定型文を使って、自分の伝えたいことを書きまとめることができている。 | 自分の伝えたいことがあいまいで、書きまとめることができていない。 |
| 序論と結論の整合性があり、読み手を引きつける工夫がある。 | | 整合性があるうえに、自分が設定したテーマについて、読み手の興味をひくために、身近なものであること、皆が知っているものであることを書くなどの工夫が複数見られる。 | 結論との整合性があり、読み手を引きつける工夫も見られる。 | 結論との整合性が見られない。もしくは、読み手を引きつける工夫が乏しい。 |
| 本論中に読み手に意図を伝わりやすくする工夫がある。 | 主述を整えたり、指示語を適切に使うなど、自分の伝えたいことを効果的に表現し、語句と語句の関係を整えたりして書くことができている。 | | 本文の文章構成を参考にしながら、３つの視点について効果的な構成の順を考えたり、具体例を示したりするなどの工夫が見られる。 | ３つの視点について効果的な構成の順になっていない。また、具体例を示したりするなどの工夫もあまり見られない。 |

６　準備物

文章構成を考えるワークシートversion1